
ペンギンマン

かがアン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ペンギンマン

【ZPDF】

Z0327B

【作者名】
かがアン

【あらすじ】

青いスーツに身を包み、地球の平和を守る予定の正義のヒーロー・
・・らしい。まあ皆さんでこの奇妙な青い人を温かい目で見守つて
あげてください。

第0話 謎のヒーロー???

南極の中心部・・・

「」ひから本部、日本支部、日本支部、応答願います。」
しかし返答はない。

「くつそつ・・・一体何があつたんだ・・・」

ウェーン 自動ドアが開き入ってきたのは全身が青い服、可愛いくペ
ンギンの顔、くちばしの間から覗くヒルな顔。

そり、彼がペンギンマン

「どうかしました?」

「日本支部と連絡がつかない・・・何か事件が起きたのかもしねな

い。もしかして、SKHの仕業かも・・・」

「何?」と敏感に反応したのはペンギンマン

「すぐに日本へ行つて事件の詳細を調べてきます。」

「ヨロシク頼む。日本までの切符代は机の上に転送しておへから。」

「ハイ!」

そうしてペンギンマンは南極から電車を乗り継ぎ・・・って無理だ。
そこにはシカトでなんとか日本についたペンギンマン。

「とーきょー町~

「」「が日本の中核か・・・」

駅前に立つペンギンマン。

「よつしー!俺が日本を救つてやる!」

ピーピー「その君、少しいいかね?」

ペンギンマンに近づく謎の二人組み。

黒い警察のような帽子をかぶり、青い警察のよつたな服をきて、黒い
警察のよつたな無線機をつけて、

黒い警察のようなズボンをはいて、黒い警察のような拳銃を腰につけている。

ペンギンマンの優れた知能で即座に逃げるシミュレーションを500通り考えて・・・・

「そここの交番に来てもらひえるかな?」

ガツシリとつかまつたペンギンマン。

そして交番へ引きずられていく・・・・

頑張れペンギンマン。

日本を救えペンギンマン。

つづく?

第0話 謎のヒーロー????(後書き)

更新はかなり遅いので・・・気に入つた方で続きが見たい人は「はよ続きかんか~」とお叱りメールでもしてください m(=^=)

m

第1話 到着しましたけど・・・

「ふう」と一きょーつて怖い町だなあ。この超スペシャルスーパー・ウルトラハイパー・ミラクル通気性抜群温度調節ダイヤル付き全身防護スーツをコス・・・・コウブレ？コスプレ？か何かしらんが間違えて、この日本と言つクソあつつ・・・・凄く熱い場所で脱げと！なんとか、ゴゴエールブレス（注1）で逃げれたものの・・・危なかつた。・・・・あつそだ！日本支部！どうして連絡がつかないんだ・・・・確か場所は・・・」

（注1 ゴゴエールブレスとは、ペンギンマンの技の一つである。）

（日本支部の前）

「普通の民家じゃないか・・・・にやあ～」

「わあっ・・・これが世界中できわめて広く飼われている食肉目の小型動物で元来、ネズミを捕獲する目的で人に飼われ始めたといわれ、広義には、「ネコ（ネコ類）」とはネコ科動物 *Felidae* の総称であり。“ネコ”という単独の語がこの意味で使われることはあまりないが、*Felis silvestris catus* という亜種レベルの「ネコ」を指すことを強調したいときは、特に「イエネコ」ということもある生物か・・・ん？あれは・・・柴犬、日本古来の犬種。オスは体高 38 - 41 cm、メスは 35 - 38 cm 程度の小型犬種。国の天然記念物に指定された 7 つの日本犬種・・・・・・・まあいいとするか。とにかくここだ。よし！入るぞ。」

（日本支部内）

内部に広がっていたのは機械。家の壁という壁に張り巡らされているケーブルやコード。

「びー」を見ても民家とは到底思えない。外とのギャップがありすぎる。

「「」が・・・」

「やあやあこりひしゃー。キニガペンギンマン君かね？本部から連絡がきとるよ。

応答願いますと。何度も何度も。ちやんと聞けないとひづーの。ワシはそこまで歳じやないわい！」

三秒の間

「なら応答せんかい！」

「おお！それもそうだなあ！」

今、明らかに理解した日本支部の支部長 「本只米牧

ほんただまいまき

留笠大悟

じゆりゅうだいご
朗」通称「マキト」無駄に通称がかっこいい。

「取りあえずジャスミン茶でも飲まんか？本部にはわしから連絡しどくから」

とそのときだつた『（びーびー）SKH出現、SKH出現』警告ブ

ザーがなつた。

「大変だベンギンマンくん。SKHがこの地区にも出現したらしい

！戦闘の準備をたのむ！」

「今から向かいます！場所を教えてください。」

「わからん。自分で探せ。」

「・・・・（怒）」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0327b/>

ペンギンマン

2010年10月11日20時20分発行